

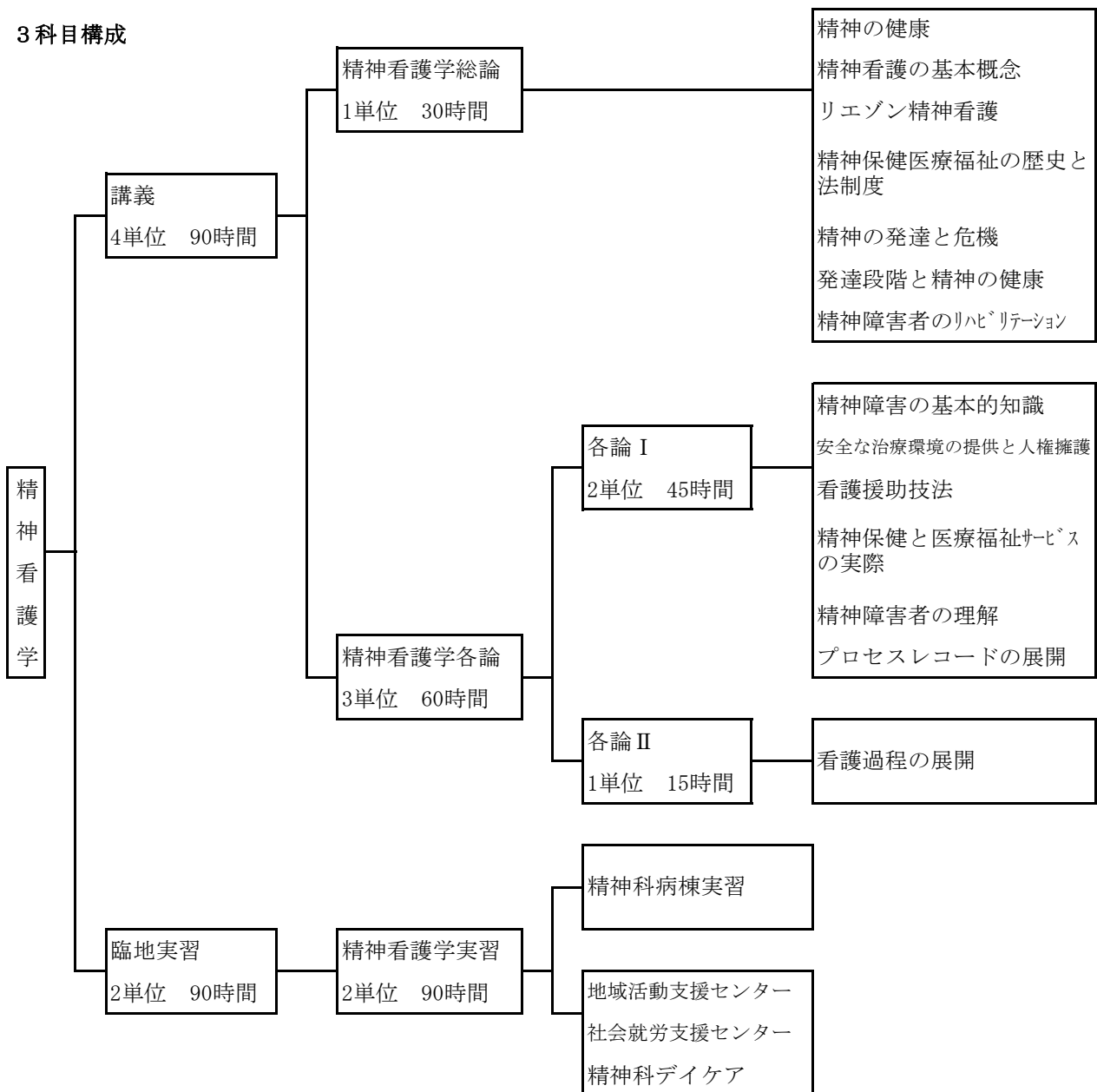
<専門分野>

# 精神看護学

**1 目的：** 現代社会における精神的健康の保持増進と心の健康問題を持つ対象および家族への援助ができる能力を養う。

- 2 目標：**
- (1) 精神看護の対象および特徴を理解し、人間の精神の健康な状態を成長発達と社会適応の面から捉えることができる。
  - (2) 心の健康問題を持つ対象及び家族に対して必要な知識・技術を習得する。
  - (3) 精神保健看護の展開ができる。
  - (4) 精神保健医療福祉における看護の役割・機能及び精神を障害された個人とその家族の理解を深め、健康的側面への働きかけが実施できる能力を身につける。
  - (5) 対象への援助活動をとおして、自己洞察力を深める。

## 3 科目構成



授業科目	精神看護学総論	担当教員	専任教員☆① 外部講師☆ ②植松 勝子	単位数	1	時期	2年次
				時間数	30		4月～
<p>目的：精神看護の対象および特徴を理解し、人間の精神の健康な状態を成長発達と社会適応の面から捉えることができる。</p> <p>目標：1) 精神看護の目的と意義を理解する。 2) 精神の健康問題を持つ対象を理解する。 3) 精神看護における看護者の役割と機能について理解する。 4) ライフサイクルにおける心の発達と健康について理解する。 5) 精神の健康に影響をもたらす環境的要因を踏まえ、援助に必要な基礎的知識を学ぶ。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	精神の健康	精神看護学とその課題 精神の健康の概念		講義	専任教員		
2	精神看護の基本概念1	我が国の精神保健医療福祉対策 精神保健福祉相談員		講義	植松		
3	精神看護の基本概念2	権利擁護と倫理的側面		講義			
4	精神看護の基本概念3	全体としての家族 患者家族の理解		講義			
5	精神看護の基本概念4	ケアの原則・ケアの方法 コミュニケーション技法		講義			
6	精神看護の基本概念5	ケアの人間関係		講義			
7	リエゾン精神看護	看護における感情労働とメンタルヘルス		講義			
8	精神保健医療福祉の歴史と法制度	精神保健医療福祉の歴史と看護 精神保健福祉の法制度		講義			
9	精神の発達と危機	心の諸活動と人格の発達 危機介入とストレス理論		講義	専任教員		
10	発達段階と精神の健康1	乳児期・幼児期・学童期・思春期・成人期・老年期		講義			
11	発達段階と精神の健康2	生物学的側面・心理学的側面・社会的側面		講義			
12	精神障害者のリハビリテーション1	社会復帰・社会参加の基本 指示的面接 ホリスティックケア、リラクセーション		講義			
13	精神障害者のリハビリテーション2	保健医療に関する資源の活用と調整		講義			
14	精神障害者のリハビリテーション3	福祉に関する資源の活用と調整 患者・家族・保健医療福祉の専門職間の連携促進		講義			
15	まとめ・試験						
評価方法		筆記試験 95点 レポート 5点					
参考文献と資料		テキスト：精神看護の基礎 精神看護学（1）（医学書院） 精神看護の展開 精神看護学（2）（医学書院）					
事前準備や受講要件等		「精神看護の基本概念5」の授業前にレポート提出。 タイトル「私は〇〇な人間です」 詳細は、授業時間内に説明。					
☆担当教員の実務経験		①看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②保健師・精神保健福祉士として医療機関、行政機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業 科目	精神看護学各論 I	担当 教員	専任教員☆① 外部講師☆ ②精神科医師 ③堀 知穂 ④外部講師	単位数	2	時期	2年次 9月～
				時間数	45		
<p>目的：心の健康問題を持つ対象及び家族への援助に必要な知識・技術を習得する。</p> <p>目標：1) 主な精神疾患と看護を理解する。 2) 精神症状と病態像を理解し、問題状況の把握が出来る能力を養う。 3) 主な精神科治療および看護を理解する。 4) 自己の感情や行動特性に気づき、自己洞察できる。</p>							
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	精神障害の基本的知識 1	疾患の分類			講義	精神科 医師	
2	精神障害の基本的知識 2	主な精神疾患 1			講義		
3	精神障害の基本的知識 3	主な精神疾患 2			講義		
4	精神障害の基本的知識 4	精神症状と病態像の理解 1			講義		
5	精神障害の基本的知識 5	精神症状と病態像の理解 2			講義		
6	精神障害の基本的知識 6	主な精神科治療 1			講義		
7	精神障害の基本的知識 7	主な精神科治療 2			講義		
8	安全な治療環境の 提供と人権擁護 1	入院の意味と治療的環境・精神科病棟の安全管理			講義	専任教員	
9	安全な治療環境の 提供と人権擁護 2	緊急事態への対処・災害時の安全確保			講義		
10	安全な治療環境の 提供と人権擁護 3	生きる力と強さに着目した援助			講義		
11	看護援助技法 1	精神症状のアセスメントと疾患を抱える人の看護 不安状態・神経症性障害他			講義	堀	
12	看護援助技法 2	精神症状のアセスメントと疾患を抱える人の看護 知覚の障害状態・思考内容・思路の障害			講義		
13	看護援助技法 3	精神症状のアセスメントと疾患を抱える人の看護 気分障害・意欲の障害他			講義		
14	看護援助技法 4	精神症状のアセスメントと疾患を抱える人の看護 急性期における看護ケアの実際			講義	外部講師	
15	看護援助技法 5	精神症状のアセスメントと疾患を抱える人の看護 身体疾患を持ちながら退院に向けての支援とその実際			講義		
16	看護援助技法 6	精神症状のアセスメントと疾患を抱える人の看護 依存症他			講義	専任教員	
17	看護援助技法 7	治療的アプローチと看護援助 薬物療法と看護			講義		
18	看護援助技法 8	治療的アプローチと看護援助 精神科の治療と身体ケア（セルフケアの援助）			講義		
19	精神保健と医療福祉 サービスの実際	地域包括ケアシステム 地域におけるケアの実際			講義		
20	精神障害者の理解1	妄想・幻覚のある人の生活 1			講義		
21	精神障害者の理解2	妄想・幻覚のある人の生活 1			講義		
22	プロセスレコードの 展開	プロセスレコードによる看護場面の再構成			講義		
23	試験（1h）						
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト：精神看護の基礎 精神看護学（1）（医学書院） 精神看護の展開 精神看護学（2）（医学書院）					
☆担当教員の実務経験		①③④看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②医師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業科目	精神看護学各論Ⅱ	担当教員	専任教員☆	単位数	1	時期	3年次 4月～
				時間数	15		
<p>目的：精神保健看護の展開ができる。</p> <p>目標：1) 発達課題とその達成度・発達の危機について考える。  2) 薬物療法が患者に与える影響を理解する。  3) 思考過程の障害が対人関係能力にどのような影響をもたらすか理解する。  4) 精神症状による囚われから現実世界へ引き戻すための看護ケアを考える。  5) 事例の展開をとおして、病態・症状・日常生活動作への影響およびそれぞれの関連性を理解する。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	看護過程の展開 1	事例紹介及び情報の分類 データベースおよび検査データの解釈		講義	専任教員		
2	看護過程の展開 2	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈 1		講義			
3	看護過程の展開 3	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈 2		講義			
4	看護過程の展開 4	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈 3		講義			
5	看護過程の展開 5	問題抽出及び関連図について		講義			
6	看護過程の展開 6	看護計画の立案		講義			
7	看護過程の展開 7	グループワーク・発表		演習 講義			
8	看護過程の展開 8 (1h)	まとめ					
評価方法		記録物（看護過程）による評価					
参考文献と資料		テキスト：精神看護の基礎 精神看護学（1）（医学書院） 精神看護の展開 精神看護学（2）（医学書院）					
事前準備や受講要件等		自己学習をして授業に臨む。					
☆担当教員の実務経験		看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					